

関前コミュニティだより

SEKIMAE COMMUNITY CENTER NO. 13

昭和61年5月10日発行

関前コミュニティセンター協議会

電話 51-0206

61年度住民総会開かれる 事業計画・予算・新役員などが承認決定される

六十一年度住民総会が、去る四月十九日午後六時からセンター大広間で開かれ、約四十名ほどの住民が出席し、事業報告・決算・予算・事業計画・新役員などが、それぞれ承認決定されました。

総会は、浜口副委員長の下で、中村委員長があいさつに立ち、センター創立五周年をきてセンター運営の充実をめざしたので、一層の協力をお願いする旨のあいさつの後、報告及び議事に入りました。以下承認された事項について大略報告します。

事業報告では、日常的なセンターの管理運営の他、七夕づくり、子供映画会、防災講習会、創立五周年記念行事の開催、文化講座、卓球大会、クリスマス子供映画会、コミュニティ芸能祭への参加など多彩な自主事業に加えて、各種サークル、クルーゾの諸活動や個人利用などで、本年度延年間利用者総数は、三万五千七百二十六人に達し、年を追うごとに利用者数は広がりをみせていることが事業報告

の特徴でありました。

関前地区の人口は、約七千六百人ですから、住民一人当たり四、七回つづ利用した計算となります。

会計決算は次表の通りで、市の補助金によつて運営されているものです。

収入総額	四一〇、〇八八二円
市補助金	・利子
・前年度繰越金	などです。
支出総額	三〇三、〇三二円
運営費	・人件費
・修繕料	・備品費
・消耗役務費	その他に支出されました。
差引残額	一〇六、九八五円
次年度に繰越されました。	

事業計画は 自主事業も加え

本年度の事業計画は、創立五周年をきた反省の上にたつ

<新役員を紹介します> 会則の規定により委員の互選で決定しました。よろしく

委員長	中村 英枝	関 2	5	27	5	23
副委員長	浜口 玄吉	4	5	5	5	5
副委員長	関根 富	2	5	13	5	5
書記	井村 則子	3	5	5	5	5
書記	池端 弘市	2	21	12	7	11
会計(兼)	浜口 玄吉	4	5	5	5	5
会計	武井富美子	5	5	5	5	5
監事	越山 新一	4	3	3	11	11
監事	榎本 清吉	3	16	3	12	12
委員	平野 正紀	1	41	3	3	3
委員	中村 治雄	2	5	5	5	5
委員	井上 了慎	2	5	5	5	5

市補助金 30% アップ

予算総額は五、一六九、八五一円

今年度の予算は、市補助金が、四、〇六万(前年比三〇%余)にアップとなったことから、五、一六九、八五一円となりました。

て、前向きに取り組むこととなりました。

いままで、話し合い、学習、スポーツを通じての交流の場の提供を主眼として、運営してきましたが、本年度は、センター独自の自主事業を積極的に取り入れて、コミュニティづくりの幅を拡げていく方

61年度予算のあらまし

収入	市補助金	4,060,000円
	予金利子	40,000
	前年度繰越金	1,069,851
	租収入	0
計		5,169,851

支出	運営費	609,000円
	人件費	2,356,200
	消耗・役務費	564,651
	印刷費	50,000
	新聞雑誌購読料	200,000
	修繕料	300,000
	通信・交通費	60,000
	備品費	1,000,000
	賃借金	30,000
計		5,169,000

針が決定されました。例へば利用懇談会、卓球大会、文化講座、講演会、コミュニティ七夕づくり、健康講座、子供映画会、防災講習などを予定してまいります。みなさんのご提案を歓迎いたします。

事務局だより

第十三号を総会特集としてお届けします。今年度は、広報に力を入れて、皆さんにニュースをお届けします。

